

五千円札の肖像としても知られる、新渡戸稲造氏は思いやりについて次のように述べています。『世間でも「せっかくあの人にこれこれの親切を尽くしてやったのに、あの人は何とも思っていない」とか、又は、「せっかく尽くした親切も無にされた」と言う人が少なからずいる。しかしこれは間違いである。他人に尽くした親切は自らこれを安く評価する練習をすることがよい』これを英訳してみましょう。



本中だより

令和6年2月号

墨田区立本所中学校

校長 松井 隆



教育目標 『心豊かなたくましい本中生を育成すること』

《心豊かにたくましく》

豊かな感性と思いやりの心を培う文武両道の学力向上校を目指します。本校は、人間尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知徳体の志ある人間教育を眼目に、品格ある学校、静かな学校、きれいな学校、そして、今までできなかったことができるようになる学校を具現化します。そこで、持続可能な知識基盤社会において活躍し幸福な百年人生を実現するとともに、心豊かな人間性とたくましく生き抜く力をもった本中生を育成していきます。そのためには、次の3つの言葉を要とします。

改革;自己改革の情熱と、向上し挑戦する心

真理;真実を学ぶ心と、誠実な心

和合;和みのある豊かな感性と、思いやりの心

校訓 『学びあう』

百年人生で生涯学習の時代です。学びあうことは、可能性を開花するとともに、どんな困難をも克服して、明るい社会と幸福な人生につながります。 墨田区立本所中学校

初心忘るべからず(しょしんわするべからず)

年度末です。この11ヶ月間よく学習に取り組みましたか。健康や体力は少しずつ増進しましたか。人に思いやりをもって接しましたか。少しでも自分の可能性を発見しましたか。

自分を振り返る時、室町時代の能楽の大家である世阿弥(ぜあみ)が残した、標題の諺が参考になります。「物事を学ぶ際に重要なことは、学び始めた頃の、謙虚な、そして真剣な心を忘れないことだ」という意味です。

しかし、これには、もっと言葉が続きます。時々初心忘るべからず(じじのしょしんわするべからず)、老後の初心忘るべからず(ろうごの

しょしんわするべからず)という言葉です。ここで言う、「初心」とは「未熟さ」と解釈できます。すなわち、「人は学問や修行の道に志した初めの時は、素直に努力をする。しかし、10年、20年と長年、その道に尽力していると、技能は向上するが慢心さが出てくる。だが、その道のベテランになっても、まだまだ業(わざ)の完成はない。ベテランなりの未熟さがある。だから、ベテランになったらベテランなりの未熟さを認識して励むことが大切だ。更に、老年になり、もし名人と評されるようになったとしても、名人には名人なりの初心(=未熟さ)がある。

だから、更に精進することが肝心だ」という内容です。

確かに、現代でも、大工さんや板前さん等で、名人と評される職人の方でも、自分は、完全にその道を極めたのだと考えている人はいません。人の営みに完全無欠がないように、ものづくりや学芸事に完全無欠はないのでしょうか。それでも、人はより完成度を高めていくことはできます。そのためには、自分の「初心」を忘れず、お願いします・有り難うございます・お互いに礼という心構えで学びあうことが大切です。全本中生に「初心の教え」を期待しています。

【校長講話抜粋】

○3月の主な予定をお知らせします

- 1日(金) 都立一般入試合格発表、
かしわ祭前日準備
- 2日(土) 土曜授業⑩、かしわ祭(展示)
- 4日(月) 生徒会朝礼、専門委員会
都立一般入学手続き締切
ESTATE-J(1, 2)
- 5日(火) セーフティ教室、球技大会(3)
- 6日(水) 都立二次・後期願書受付
- 7日(木) 都立二次・後期願書取り下げ
- 8日(金) 卒業遠足(3・特)
都立二次・後期願書再提出
球技大会(1, 2)
- 9日(土) 都立二次・分割後期入試

〈3月の主な予定の続き〉

- 11日(月) 卒業式1・2年学年練習
- 12日(火) 卒業式全体練習
- 13日(水) 卒業式予行
- 14日(木) 都立二次・後期合格発表
- 15日(金) 都立二次・後期入学手続
- 18日(月) 前日準備
- 19日(火) 卒業式
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 保護者会(1, 2)
- 22日(金) 大掃除
- 25日(月) 修了式
- 26日(火) 春季休業日始
- 30日(土) スプリングコンサート
(体育館 AM・PM)

◎Society(ソサエティ)5.0の情報安全に備えて

これからの社会での情報の危険性に鑑み、中学校段階では、本校はSNSをしなないことをルールとしています。しかし、卒業後、高度情報社会の大波を受けることは必至です。そこで、情報安全のための心構えや身構えを、今からしっかり作っておく必要があります。次のことに留意しトラブルを防止しましょう。

その1、まぎらわしい言葉を使わない インターネットやSNSは、直接話さないの、相手の意図が伝わりにくい。そのため、普段から言葉を正しく使う習慣を身に付け、十分に気を付けましょう。

その2、文章を考えてから送信する 一時の感情に任せて情報発信をしてしまうと、取り返しがつかなくなる場合があります。文章を送る際には少なくとも読み直しをするなど、『ゆとり』をもちましょう。

その3、保護者とのルールを作る インターネット、SNSのトラブルは、未成年者だけでは解決できない場合があります。危機回避の点からも、普段から保護者とよく話し合い、しっかりとしたルールを決めましょう。

その4、既読無視されても気にしない 既読無視は、相手を傷付け精神的なストレスにつながる場合があります。しかし、相手にもいろいろな事情があることを頭に入れて冷静に対応していきましょう。以上のことをしっかり考えて、トラブルに巻き込まれないようにするため、正しくインターネットを使う心構えや身構えを養いましょう。

◎インターネットを使う上でも人の悪口を言わない・だまされないことが肝心

◎いじめは、いつでも誰にでも起こり得ることを前提とし24時間対応のいじめ電話相談窓口が開設されています。すみだスクールサポートセンター **電話03-3613-0127**です。いじめ問題に関する相談ができます。勇気を出して相談をしてください。さらに、『どんな小さなことでも心配・不安・悩みがある時は一人で悩まず、相談しましょう』『TOKYOほっとメッセージチャンネル』(<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>)にも相談できます。

We often hear people complain, "I have done this and that for him out of kindness, but he seems to have forgotten all about it," or "All my kindness has been thrown away upon him." But in that, I suppose, they are mistaken. They should rather train themselves to underrate a good turn they do to other people.

世間でも「せっかくあの人にこれこれの親切を尽くしてやったのに、あの人は何とも思っていない」とか、又は、「せっかく尽くした親切も無にされた」と言う人が少なからずいる。しかしこれは間違いである。他人に尽くした親切は自らこれを安く評価する練習をすることがよい。

〈この歯ごたえのある英文を味わってください。train、turnを何と訳すかがポイントです。〉